

悠(妹)



二人は双子の姉妹
左が芽衣(めい)
右が悠(ゆう)

芽衣(姉)

芽衣は真面目で
悠は不真面目な
ところがあるからか
よく喧嘩をしている

しかし最近
は特に仲が悪い





幼馴染みの
僕は二人のことが
とても大事だ

差なんてものを
つけないよう
平等に愛している
つもりだ

そんな二人が
喧嘩している
ところはみたくない

僕としては
二人とも仲良く
すごしてほしい
だから



二人が言い争いを
始めたら僕が間に
入るのだが決まって
二人は僕の顔を
見つめる。

その時は収まるのだが
結局はいったんなので
目を離すとまたすぐに
始まってしまう。

何が原因で
そこまで二人を
喧嘩させて
しまうのか……
僕にはまったく
わからない……。
困った……

じ
○○○



芽衣(めい)
双子の姉。
幼馴染みの男の
ことが大好き。ドM。
望むこと何でもする。
気持ちを抑えきれずに
妹と一緒に幼馴染みに
手を出した。

悠(ゆう)
双子の妹。
幼馴染みのことが
好きなことが自分自身で
気付いていない。
ひよんなことから姉と
一緒に幼馴染みに
手を出した。言葉遣いが
きついが姉以上のドM。
本人は認めていない

幼馴染みの男の子
(画面外)
寝込みを二人に
襲われた。が思考が少し
変わっているので
何故か責任をとって
二人のことを幸せに
しようと頑張っている。
二人のことをとても
大事に思っている。ドS。



双子の姉、
芽衣はクールな
女の子であまり
喋らない

基本的には僕が
一方的に話しかける
だけで「そう・・・」など
その程度の相槌
しかない

嫌われているのかもと
思ったが両親があまり
家にいない僕に料理を
作って持ってきて
くれることもあるから
そこまで嫌われては
いない・・・と思っている





双子の妹、悠は結構な頻度で僕の家に来る。芽衣と顔を合わせるのが嫌みたいだ

僕の部屋に居座っているだけで会話などはほとんどない

悠が僕のことをどう思っているかはわからないけど、一緒に居ても嫌じゃない自然体ではいられる仲だと勝手に思っている



二人とは仲が悪いというわけじゃないけど仲がいいという関係でもない一定の距離感がある

……と
思っていたら
寝込みを
襲われた。

詳しくは
分からないが
色々と思いつめて
いたらしい芽衣は
この時僕のことを
襲おうと決心したそうだ

芽衣が珍しく
料理と一緒に
食べると
言い出した日、
芽衣が用意した
飲み物を飲んだら
それがお酒だった
らしく、僕は気絶
するかのよう
に寝てしまった。

芽衣が
手を出そうと
したその時、
悠が僕の家
に来て二人
が鉢合わせ
た。

そしてなぜか
悠も一緒に僕
に手を出す流
れになった。
ほんとにな
ぜだ。

この時の記憶は
僕の中ではつきり
と残っている

あまりの快楽と
酔いのせいで
抑えがきく
はずもなく、

二人を何回も
何回も僕がはてる
まで抱きつづけた。

二人が手を出したとは
いえ、抑制できず好き
勝手に二人を抱いたのは
事実。のちに僕は男として
責任をとろうと思ったのだ



芽衣に寝込みを
襲われた数日後

…私

警察に
出頭するわ…

なっなんで!?

お酒とジュースを
間違えて
しまった挙句

酔って
寝てしまった
あなたを襲って
しまうなんて…

本当に
ごめんなさい…

私は最低の
変態女よ…

お酒わざとじゃ
なかったんだ…

抑えきれなかった
ボクも悪かったこと
そんなこと
しなくてもいい

何度
説得しても
納得せず

本人の意志は
かなり強かった

仕方なく
僕は

もうあなたには
近づかないと誓…

芽衣が
僕のそばから
離れられ
なくなるよう

・・・じゃあ
もう一度
聞くよ？

芽衣、
僕のものに
なってくれる？

はっ・・・
はひ・・・
はひ・・・

なっ・・・
なりまひゅ・・・

体に何度も
「説得」をした

どろお♡

僕が呼べば
いつでも
駆けつけてくれる



僕の「恋人」になっもてくれた

その後の
芽衣は僕に
従順になり



双子の幼馴染み、
その姉、芽衣は

仕事で両親が家にいない
僕に料理を作り
来てくれることがある

そして作り
終わった後は
僕が食べ終わるまで
直立したままじっと
こっちを見る

毎度この状況は
いったい何なん
だろうか……

何故かものすごく
緊張して
しまう……！

一緒に食べようって
言っても
断られるし……

……えーっと
いつも言ってるけど
ありがとね

美味しいよ

……そう

……悠とはいっぱい
喋ってるどころ
見るけど僕とは大体
「そう」で終わるんだよなあ
会話……

わざわざ料理を作り
来てくれるから
嫌われてはないと
思うけど……

芽衣 心の声

ああ……！私の
作ったご飯
食べてくれてる……！

美味しくできたと
思うけど彼の
口に合うかどうか
毎回ドキドキする……！

本当は毎日作りに
来て上げたいけど
流石に毎日には彼に気を
使わせてしまうから……

なんなら
料理だけじゃなくて
ずっとおそばにいて
全部お世話して
あげたいくらい……

……それにしても彼が

私の作った料理を

食べてる姿を見てるだけで

こんなに幸福な

気持ちになれるなんて……

……えーっと
いつも言ってるけど
ありがとね

美味しいよ

……そう

あああああああ~~~~~♡

めちやくちやうれしい~~~~♡

幸せすぎる~~~~♡また作りに

くるから待っててね~~~~♡

双子の幼馴染み、
その妹、悠は
口や態度が悪い

……あ？
何見てんだよ
殺すぞ

そんなちよっと
目が合っただけで
ヤンキーがいいような
テンプレセリフを
言わなくても
いいじゃないか

……でもまあ口と
態度が悪いだけで
絶対に手を出したり
しない子なので

たまに
黙って見続けて
反応を楽しんだり
することもある

じゅっ

だっ……だから
見んなって！

おいっ！
聞いてんのか！

……もーっ！
見るなって！

……てめえたまに
あたしのこと
馬鹿にしてるだろ？

でも力とかは
流石に悠より僕の方が
上だと思うから最悪
押さえつけられると
思うけど

じゃあ
試してみる？

あたしが寛容なだけで
てめえみたいな
ひよろひよろの奴
簡単にボコボコに
出来んだからな？

はあ？
んなわけねえだろ
秒でふり
ほどけるっての

はっ
しゃーねえ、てめえの
身の程ってやつを
わからせといてやるよ

……ほらやっぱり
僕の方が
力強いでしょ？

うっ……うそだろ……？
全然振り
ほどけねえ……

ぞくぞく……

あれ……？
それじゃあ……

もっ……もし……

こいつに

襲われたら……

あたし……

……？
どうしたの？

双子の妹、悠とは
あれから少し
疎遠になり



こっちから
近寄っても

こっ……
こっちくんな
ばっかっ!

どうすべきか
芽衣に相談
してみたところ

そっ……
そうですね……

悠はその……

実は……素直じゃ
ないだけで
ど……どMなので……

(適当)

内心はオ……オナホ
みたいに道具扱い
されたいみたい
ですよ……?(大嘘)

こっ……これで悠に
嫌われて私だけを
見てくれるはず……

ああ……
嘘をついてしまった
お詫びはこの体で
しますから許して
ください……

…これから
この部屋に
入った瞬間から
悠は

僕専用の
メスオナホ
だから

…というわけで
僕の部屋に無理やり
連れ込んでいじめる
ことにした。



生意気なこと
言えなく
なるように

しっかり舐めて
あげるから
安心してね



数日後

●
●
●
●
●

なんであいつの
部屋の前まで
きちまったんだ
あたしは……！

いや部屋から出てきた
あの野郎をぶん殴りに
来ただけだっ！

あの野郎、人のこと
めちゃくちゃに
しやがって……

チッ

どういうつもりで
あんなこと……



…入る
わけねーだろ

…だって
ここに…
入ったら…

あたし…

…ばか
だめだって…

…だめ…

11⁰タン

なあーこいつが
おっぱい
揉みたいってー

・・・などという
ふざけたことを
クラスメイトが
言い出した。

幼馴染みだから
大丈夫だってお前の
幼馴染みじゃないだろ

僕だけならまだしも
芽衣も不快にさせる
ような発言をするなど
クラスメイトに説教し、
僕からも芽衣に謝罪した。

・・・が、ああほらもう
目も合わせてくれ
ないじゃないか

.....

ああくそ、変なこと
いうからなんだか胸を
差し出しているように
見えるじゃないか・・・！

双子の妹、悠は
姉の芽衣と一緒に
いたくないので
僕の部屋に
よく居座っている。

…あたし
みたいなのに
いつも部屋
占領されて
最悪だろお前

そんなこと
ないよ

悠と一緒にいても
重たい空気にならない
っていうか…

会話がなくても
自然体で過ごせるよ

……

この続き
どこ？

……なあ

…動けないん
ですけど

ぎゅ

こっ…こいつ…♡
あたしのちっ…乳首…
ずっと…♡
かりかりっ…って…♡

いっ…
いっ…
いっ…
いつまで…っ♡

…なるほど、
悠は乳首
弱いんだね



こーやって
悠のデカパイ
ひっぱって
乳首ぐりぐり
いじめたり

ちよつと
強めに揉まれたり
するのが気持ち
いいでしょ？

きっ…
きもちよく…♡
ないい…♡



そんなことないでしょ
ほら、まんこ全然
触ってなかったのに
ぐちゃぐちゃに
なってるじゃん



ちょっと、一人で
何気持ちよく
なってるのさ？

全く、しっかり
舐める必要が
あるなあ



…相変わらず
料理を作ってくれた
後は立ちながら
ずっとこっちを
見てる…

今日は忙し
かったのか
制服のままだし

しかもジュースまで
用意して…
時間がなかったんなら
そこまで無理
しなくても…

好き…♡

〇〇

…お？

くじく

あれ…

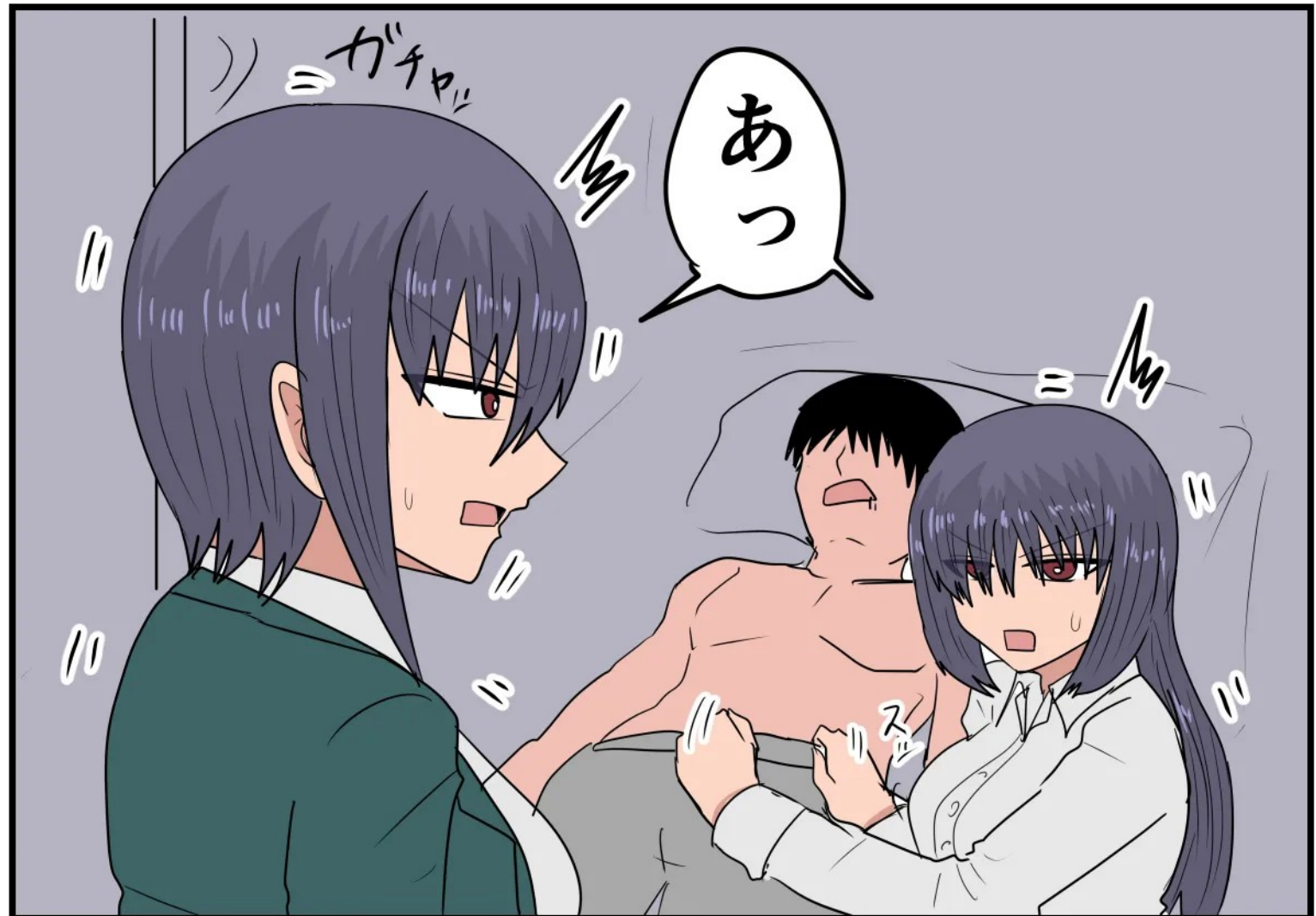
えっ!?



。。。あっ!?
これ。。。お酒。。。!?
急いで来たから
間違えた。。。!?

ど。。。
どうしよう。。。
謝らないと。。。
とっ。。。とりあえず
先に介抱しないと。。。!
彼の部屋まで
連れて行って

ベッドに横に
なってもらって
それで――



。。なんか頭がふわふわ
してて、芽衣と悠から
えっちなことされてるなあ、
きもちいいなあとか。。



芽衣と悠から
そんなこと
されるわけないし、
大体二人同時って
ありえないだろうって。。

あーそうかこれ夢か、
なら好き勝手にしても
いいかーって。。



あかん。

。。。。。。いや、

は！。。♡

は！。。♡

…芽衣はまだ
気にしてるね
僕の寝込みを
襲ったこと。

……
それは…

安心して、芽衣。
芽衣の心が
少しでも軽く
なるように

これから
ずっと僕が
芽衣のこと…

僕の好きな
ように、

めちやくちや
「いじめて」
あげるからね！

あ……っ♡

は……い……♡

バグッ♡

バグッ♡

お前
勘違いすんなよ

あたしが
お前に手え
出したのはなっ

芽衣に嫌がらせ
するつもりで
割って入っただけ
なんだよ！

あたしの心は
お前のもんじゃ
ねーってこと
理解しとけよ！

なっ何笑って
んだよっ!?

体の方は
もう、

僕のもの
なんだって
思っ

.....っ

~~~~~っ

♡♡

…芽衣  
お前だろ！  
変なこと  
吹き込んだのは！

そのせいで  
あたし…  
あたしは……！

…しっ  
知らないわね

そっ…  
そもそも嫌なら  
抵抗すればいい  
話でしょう？  
…なんで今でも  
彼の部屋に行くの  
かしら？

うっ…  
うるせえっ！！

相変わらず  
二人の仲は悪く  
今日も揉めている…  
そこで僕は



んっ……♡

くっさ……♡

なんで……♡  
あたしが……  
こんなくさい  
ちんぽを……♡

あっ……♡頭……  
おかしく……  
なる……♡

お……っ♡

おねがい……  
します……♡

はやくっ……♡  
ご奉仕させて  
ください……♡



二人に仲良く  
なってもらう  
ために

自分たちの口で  
協力しあいながら  
僕のちんぽに  
「ご奉仕」させる  
ことにした